

森岡孝二『就職とは何か―〈まともな働き方〉の条件』岩波新書、2011 年

1、目次

はじめに

第1章 就職氷河期から新氷河期へ

第2章 就活ビジネスとルールなき新卒採用

第3章 雇われて働くということ

第4章 時間に縛られて働くということ

第5章 就職に求められる力と働き方

終章 〈まともな働き方〉を実現するために

あとがき

2、著者紹介

森岡孝二(もりおか こうじ)

香川大学経済学部卒業、経済学博士

1944 年 大分県生まれ

1969 年 京都大学大学院博士課程退学

1983 年 関西大学経済学部教授

専門——企業社会論、労働時間論

著書——『企業社会の時間構造』(青木書店)

『日本経済の選択』(桜井書店)

『強欲資本主義の時代とその終焉』(同上)

『働きすぎの時代』(岩波新書)

『貧困化するホワイトカラー』(ちくま新書) など多数

3、選定理由

1. 就職活動について考える。
2. 日本の就職制度について明らかにする。
3. 労働について理解する。
4. 企業や労働組合についての理解を深める。
5. 社会の現状に迫る。
6. 仕事に必要なスキルについて考える。
7. 賢く働くことについて考える。
8. 〈まともな働き方〉について考える。
9. 社会に求める雇用について議論する。
10. 今できることについて考える。